

おとっちゃん誕生日

(上演時間 約20分)

作・清田明世

● 登場人物

さち
とも
お母さん
お父さん
鳥
猫
アヒル
ナレーター

● あらすじ

今日はお父さんの誕生日です。さちちゃんともちちゃんは、家族でお祝いしようとして待っていますが、お父さんはなかなか帰ってきません。お父さんはいつも約束を破る。お父さんは忘れん坊だ。お父さんは苦手なことがたくさんある。ダメダメで、カッコ悪いお父さんだ。そう思っている二人のところへ、「お父さんに御礼がしたい」と、お客さんがやってきます。

ダメダメでカッコ悪いお父さんは、

本当は、どんなお父さんなのでしょうか？。

● 大道具・小道具(道具として準備が難しければ、絵で構いません)

- ・大道具：大きなドア(家の内と外を仕切ります。できれば開閉できる方が良いです)
- ・小道具：木枝などで作ったような籠、かつお節(紙などを丸めて作ったもの)
 - ↓籠とかつお節にはリボンが付いていると良いです
- 花の冠(つむぎ)、ケーキ、おもちゃ、マント(なくても可) など

● 作者より

作者が子どもの頃は、お父さんと言えば頑固親父でした。怖い以外よく分からないのがお父さんでも最近のお父さんたちは、献身的で、子煩悩な人も多いんだなと思います。家の外にいる時間が長いお父さんのことを、子どもたちはきつと一部分しか知らないだろうなと思います。そしてそれは、きつとお父さんの側も同じではないでしょうか。離れている時間が長い分、お父さんと子どもたちの距離は、いつも微妙です。この作品では、お父さんに対する子どもの本音も台詞に込めました。子どもたちだけでなく、いつかお父さんたちにも見ていただけたら嬉しいな、と思います。

お母さん、再び料理の準備をする。

さちこ
ともこ
「だいたいさ、お父さんって、時間の約束破るよね。
「すぐ帰るよ」って言って、いっつも遅いしね。」

さちこ
ともこ
お父さんは、約束破りの名人だよ。
うん。それに、忘れん坊だしね。
うん。車の運転だって、ノロノロだし。
うんうん。

さちこ
ともこ
お父さんって、ダメダメだよ。
お父さんって、ちよつとカッコ悪いよね。

お母さん、舞台からはける。

忙しく家事に奔走する様子
訪問者がドアに近づく。
観客から顔が見えないように、観客に背中を見せて現れるか、マントを被っている。と良。

ドアを、トントンと叩く音。

さちこ
ともこ
あれ？
お父さん!?

ドアの前に行くが、ため息。

さちこ
ともこ
すぐにドアを開けたらだめだよ。お母さんが言っていたでしょ。

さちこ
ともこ
でもお、お父さんだったらどうするの？
じゃあ、お父さんかどうか、聞いてみよう。

さちこ・ともこ
誰、ですか？

おすおすと

鳥
こんばんは。私は、鳥です。

「鳥です」のところで、顔をハッキリ見せる。